

登録No.  
登録名  
催吐性リスク  
適応疾患  
投与スケジュール

S-127  
Datopotamab deruxtecan療法  
高度  
乳癌

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	アセトミノフェン静注液1000mgパック	500mg/body		d1	d.i.v.	15分	
Rp.2	パロセトロN0.75mgパック テキサメタゾン カルバコルフェニラミン ホスナツピタント	50mL/body 9.9mg/body 5mg/body 235mg/body		d1	d.i.v.	30分	
Rp.3	5%ブドウ糖液	100mL/body		d1	d.i.v.	全開	ダトボタマブ・デルクステカン 前後フラッシュ用
Rp.4	ダトボタマブ・デルクステカン 5%ブドウ糖液 注射用蒸留水（溶解用）	6mg/kg 100mL/body (5mL/V)		d1	d.i.v.	初回90分 容忍性良好であれば 2回目以降30分まで短縮可	0.22 μmインラインフィルター使用 遮光投与

1クールの期間

3週間

標準クール数

最大クール数

P.Dまで

休薬期間の規定

投与間隔短縮の規定

その他（副作用・PS規定等）

PS : O-1

患者選択基準： アンスラサイクリン系抗悪性腫瘍剤またはタキサン系抗悪性腫瘍剤の治療歴のある患者に使用  
ホルモン陽性かつHER2陰性（IHC : 0、1+、2+→FISH陰性）の手術不能または再発乳がん患者に使用  
Neutr ≥ 1,500 / μL、Plt ≥ 10万 / μL、Hb ≥ 9g/dL、Ccr ≥ 30mL/min  
AST/ALT ≤ 3 × ULN（肝転移がある場合：≤ 5 × ULN）  
T-Bil ≤ 1.5 × ULN（ギルバート症候群、肝転移がある場合：≤ 3 × ULN）

減量： 1段階：4mg/kg 2段階：5mg/kg 3段階：中止

副作用： 骨髄抑制、消化器症状、口内炎、角膜障害、間質性肺炎、infusion reactionなど